

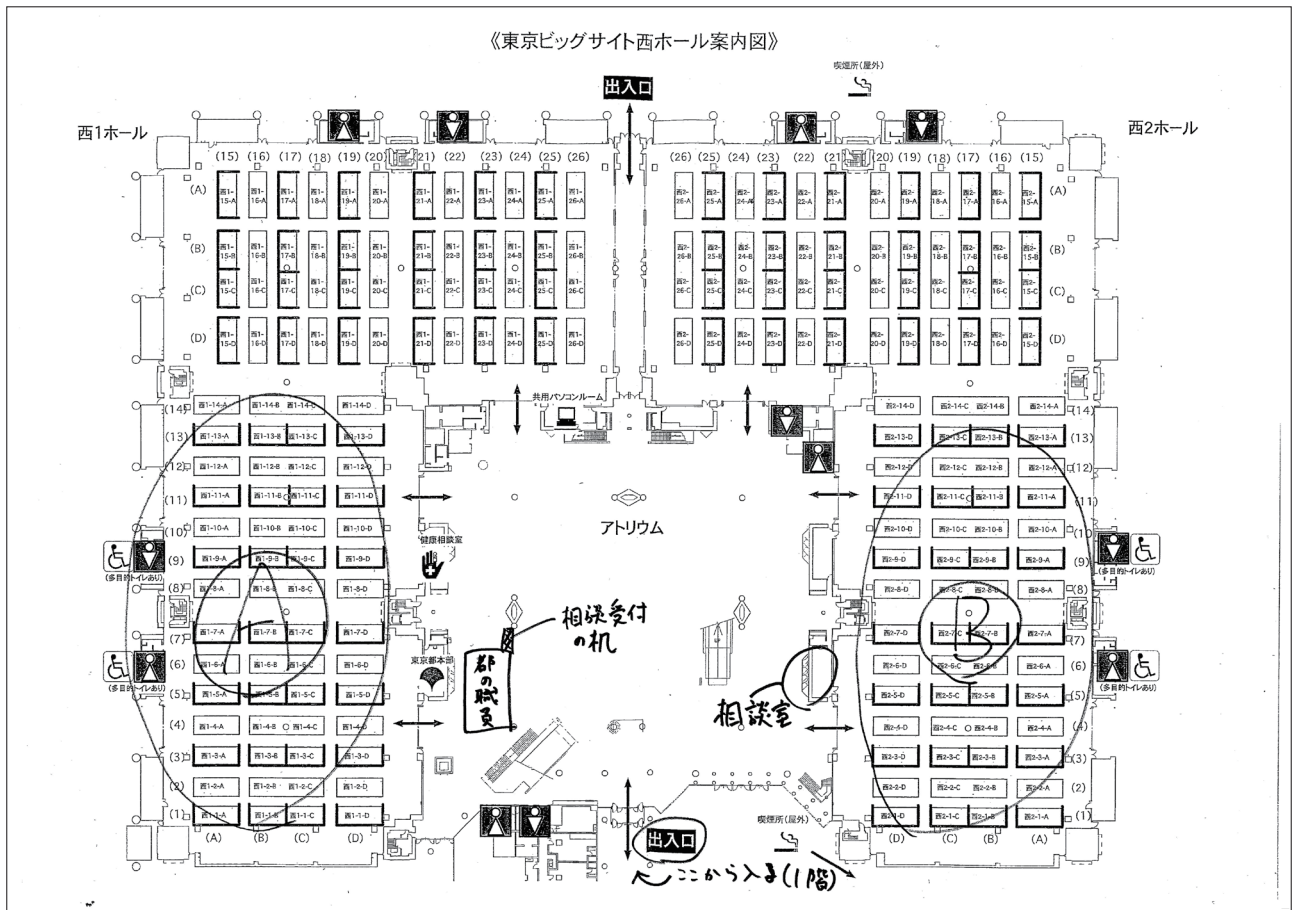
都内避難者相談プロジェクト 東京ビッグサイト

東京三会復旧復興本部 事務局次長 第二東京弁護士会
小海 範 亮

東京ビッグサイトは、都内で3カ所目に開設された大規模避難所である。避難者の受入開始は3月22日であるが、東京三会による東京都との折衝により、この日までに施設内での避難者相談所設置が可能となっていた。そこで、翌23日には都の担当者に電話連絡し、その日の夕方には現地にて相談所開設のための打合せを行った。相談場所や机・椅子の確保、情報提供に利用するためパソコンが使用できる環境は必須であったため、電源とインターネット接続を依頼した。翌日には都より検討結果の回答がなされ、3月28日より相談所を開設することになった。すぐにでも開設をお願いしたい気持ちもあったが、比較的后発の避難所であったためか23日午前中の時点で避難者は20名弱とまだ少な

く、また東京都の各避難所はその施設を管理するそれぞれの部署（東京ビッグサイトに関しては産業労働局）が現場の運営を行っており施設毎に対応をご検討いただくしかなかったことから、やむを得ないものと考えた。

東京ビッグサイトは国際展示場であり、避難場所はその一部の西展示棟1階であったが、3000人の受入れを予定する広大な施設であった。ホール内を居住スペースとしてカーペットを敷き、2辺3メートル×1辺9メートルの高いパーティションをコの字に立てて三方を仕切るユニットとし、1ユニットを2世帯が利用する計画であった。ただし、結果的に自治体ごと移転などの大規模避難者の受入れはなく、また順次都営住宅等の抽選・入居が開始され



たため、避難者は多いときでも150名程度であった。そのため閑散としており、無機質な施設かつ床はコンクリートで固いこと、事務所や救援物資配布場所となっているエントランススペース（アトリウム）も天井が高く広大であること、施設自体臨海の住居がないエリアに存在することなども相まって、とても寂しい雰囲気であった。ただし、他の騒々しい避難所に比べるとプライバシーも守られ落ち着くことができるという避難者の感想もあった。食事は1人1日2000円のパウチャー券が渡され（施設外の近くの飲食店を利用）、また風呂は近くの大江戸温泉（日帰り温泉施設）利用券が渡されていた。

相談時間は毎日13:00～16:00とし（途中から16:00～19:00の夜枠も設ける）、相談開始からしばらくの間は一般相談員募集の余裕がなく、二弁の法律相談センター運営委員会委員や東京フロンティア基金法律事務所の所員などに応援を求める。4月4日に、東京三会が企画した日弁連主催の緊急研修会（3月23日）出席者に対して募集の告知を行い、9日より避難所が閉鎖された4月24日まで、担当を割り当てて相談を行った。最終的にはのべ112名（昼枠80名+夜枠32名）が参加したことになる。相談件数は合計73件（1日あたり2.6件）と必ずしも多くはなかったが、避難者がそれほど多くはなく、また居住スペースへの立入りは禁止されており、さらにこの時期は長期的な避難生活場所確保のために奔走し外出している避難者も多かったと思われる中で、「お困り每ありませんか」と丁寧に声をかけ、被災者の悩みや世間話にもつきあうなど、相談員は

積極的であったと思う。チラシの作成・配布、情報提供スペースに許可を得て資料設置、アンケートの実施など、工夫しながら運営がなされた。相談内容は、行政手続や支援制度、現地の状況を知りたいなどの情報提供が多く、パソコンや情報の出力は必須であった。相談室は鍵をかけることができる部屋であったため、室内に相談カードや六法、震災関連資料のほか、プリンター・コピー複合機（中野剛史先生の私物）を置きっぱなしとし、相談員には各自のパソコンを持参するよう呼びかけた。

当避難所相談の大きな特徴は、他士業共同で相談会を行ったことである。東京三会も加入する災害復興まちづくり支援機構（都内の士業団体が加入する災害支援組織）に呼びかけ、相談所開設の翌日より、弁護士以外の他士業と共同で相談所を運営した。弁護士も含め、相談員は支援機構の腕章を身につけた。前述のように相談内容は情報提供が多かったことから、特に社会保険関係における社会保険労務士など、各士業の得意分野を生かした連携も行われた。ただし、「まちづくり」の名称からしても、当団体は本来災害復興の場面で力が発揮されるものである（いわば「ハード」面の専門家が集まっている）ので、今後より機能的に連携していくために、各士業団体が被災者の現状を認識しておくという意味も大きかったと思う。災害初期の段階では、被災者の精神的なフォローや福祉的な支援も重要であり、今後その方面の専門家（例えば、社会福祉士など、いわば「ソフト」面の専門家）との協力関係を構築することも必要であると感じた。